

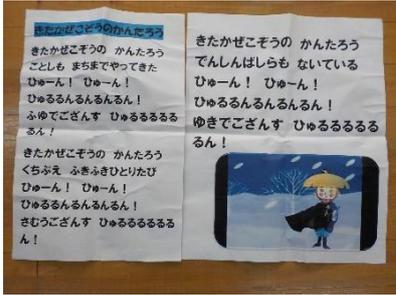


## 教材・教具 小

## みるきく

教科・領域	みるきくつたえる
名称	『夏のおもいで』 大型絵本（紙媒体）、ペープサート
写真 使用方法	 
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 AB 高グループ（5, 6 年生）
素材・作り方等	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 大型絵本：コピー機のスキャナー機能で読み取った後、大型印刷機で印刷する。</li><li>・ ペープサート：印刷およびラミネート後、ストローをつける。</li></ul>
使ってみて （効果・反省等）	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 読み聞かせの際、ページをめくる動きや音から絵本の世界観を感じてほしく、電子絵本ではなく紙媒体の大型絵本にした。</li><li>・ お話の中で登場キャラクターが走りぬける様子を、ペープサートを用いて再現した。また、ペープサートを手に取った児童がキャラクターと共に教室を駆け巡り、風やリズム、スピード等をからだ全体で感じることができるようにした。</li></ul>
保管場所 又は所有者	本校 小学部



教科・領域	おんがく
名称	北風小僧のかんたろう
写真 使用方法	  
対象児童生徒 学年・グループ	<p>小学部 3, 4 年生</p> <p>3 学期の木曜日のおんがくの授業で使用した。「北風小僧のかんたろう」の歌に出てくるかんたろうの衣装をつけて授業を進めた。児童の注目が集まっているように感じた。また、うちわを持たせることで踊りを踊ることが難しい児童が風を感じたり、風を起こしたりして歌の内容に入り込めるようにした。</p>
素材・作り方等	うちわにイラストを印刷した紙を貼り付ける。
使ってみて (効果・反省等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導者が教材に出てくる人物になりきることで、いつもと違う刺激があり集中して授業に取り組めた。手元にイラストが貼られたうちわを渡すことで視覚的な支援になった。</li> <li>反省点ではうちわを握ることが困難な児童もいたので、ゴムをつけて滑りにくくするといった改善が浮かんだ。</li> </ul>
保管場所 又は所有者	本校 小学部



# 教材・教具 小

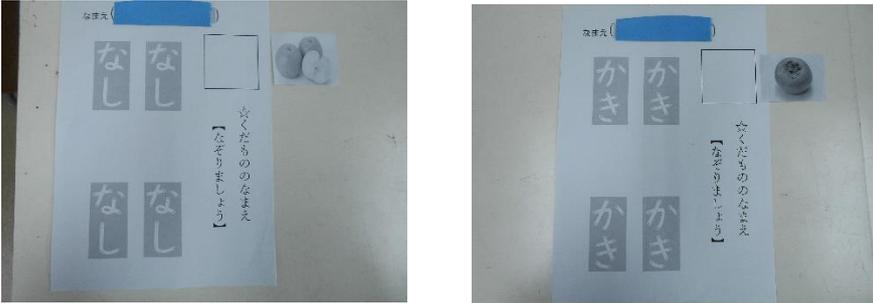
# 国語

教科・領域	国語
名称	パネルシアター（泥棒兄弟）
写真 使用方法	
対象児童生徒 学年・グループ	<p>小学部 C 高グループ（4, 5 年生）</p> <p>2 学期の火曜日、金曜日の国語の授業で使用した。初めは、紙人形のくねくねした動きに驚く児童もいた。慣れてくるとリズムのいい曲に合わせて紙人形を揺らしたり、家やいす等のイラストを話の内容に沿ってタイミングよく貼り付けたりすることができた。家等のイラストの下に「いえ」と書いている札を正確に貼り付けることもできた。話の内容も理解することができていた。</p>
素材・作り方等	<ul style="list-style-type: none"> <li>型紙を拡大コピーして紙人形や家やいす等の物品を用意する。</li> <li>色づけは、クーピーを使用。</li> <li>紙人形は、頭、腕、足が動くように糸で縫いつけた。</li> </ul>
使ってみて (効果・反省等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>パネルシアターにして、いつもと違う刺激があり集中して授業に取り組めた。慣れてくるとリズムのいい曲に合わせて、紙人形を揺らしたりいえやいす等のイラストをタイミングよく貼り付けたりして、楽しみながら取り組めた。セリフは、「いいね」の札をあげることができた。話に登場してきた人物や物の名前をとおしてことばの勉強もできた。</li> </ul>
保管場所 又は所有者	本校 小学部

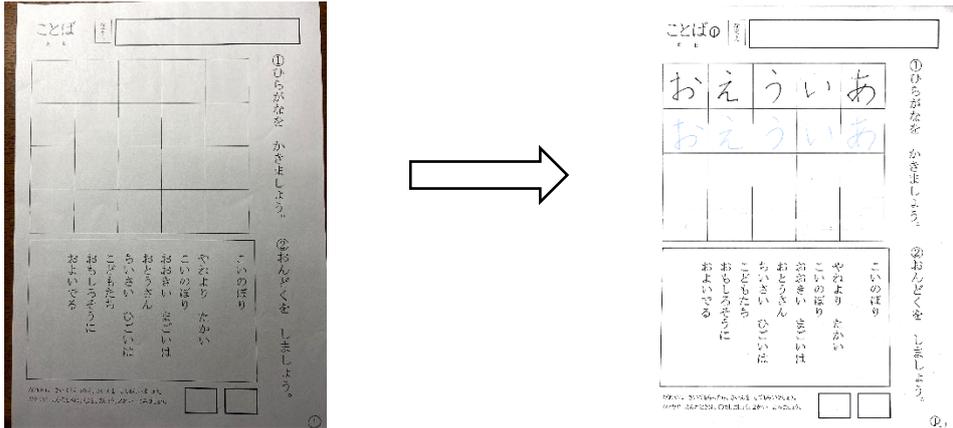


# 教材・教具 小

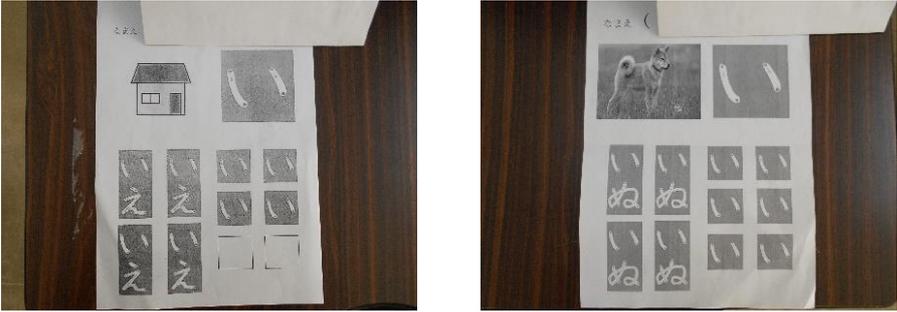
# 国語

教科・領域	国語
名称	ひらがなプリント①
写真 使用方法	 <p>児童とともに字を読み、そのイラストをはる。 宿題として出す。 答え合わせをする。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	児童の実態としては、平仮名に興味があり覚え始めていて、かたまりとして読んでいる段階である。
素材・作り方等	<p>① PC にインストールされていないフォントを一時的に使えるようにするフリーソフトを活用することで、白抜き文字等のフォントを使えるようにし、書きやすいようにグレー塗りの枠の中に白字でなぞる線を書く。</p> <p>② 右上にイラストをはれる枠を作る</p>
使ってみて (効果・反省等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 白地に字を書いたものをなぞるよりも、なぞりやすそうである。</li> <li>・ イラストを見ながら字を書くので一人でも、そのひらがなを読みながら書くことができる。</li> </ul>
保管場所 又は所有者	本校 小学部

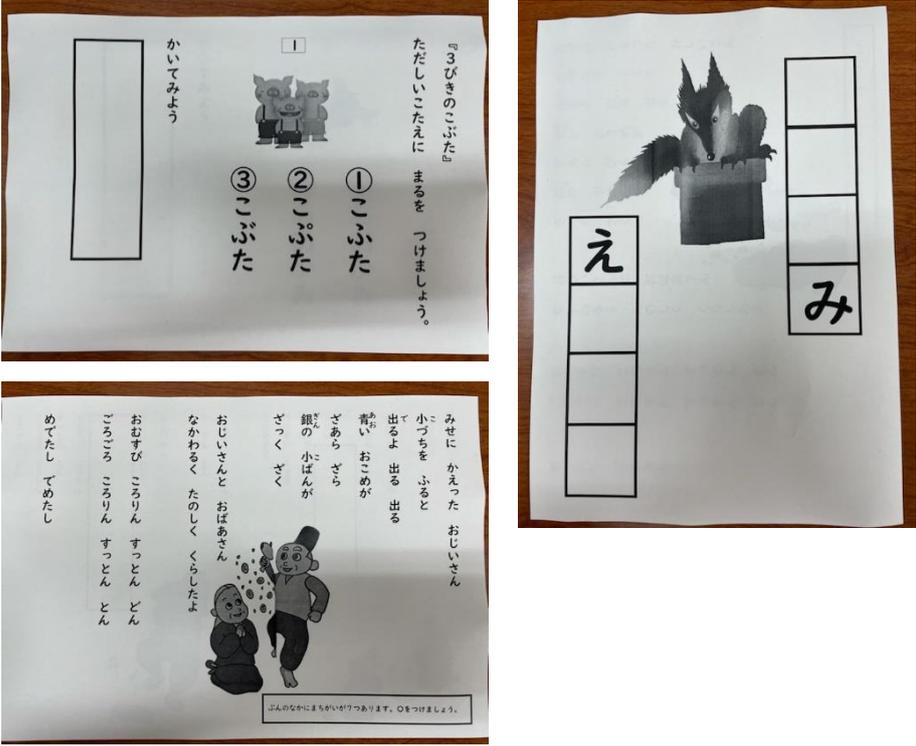


教科・領域	ことば（国語）
名称	ことばの宿題を作るためのひな形
写真 使用方法	 <p>手書きで必要な文字を書き込む。あるいは、薄くなぞれるようにする。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	<p>ひらがなの清音をほぼ書ける児童</p> <p>ひらがなの文章を読み書きすることをめざす児童</p>
素材・作り方等	<p>パソコンで、A4用紙1枚のひな形プリントを作る。ひらがなに慣れ、定着を図るため、音読の課題を必ず入れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童が、文字を書ける大きさの記入欄にする。</li> <li>ひらがな、カタカナ、漢字等を順次入れていく。</li> <li>短文作りの課題も含め、ひらがなを定着させる。</li> <li>音読に慣れてきたら、読解問題も入れ、次へのステップとする。</li> </ul>
使ってみて (効果・反省等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ひらがなを一文字一文字読めても、文章を読むのはなかなか難しく、年度始めはなかなかすらすらと読めなかったが、3ヶ月くらい経過した段階で、初めて読む文章においても、ある程度、すらすらと読むことができた。</li> <li>年度末には、拗音などの一部弱い部分の基礎を埋めるため、過去に使用したプリントを挟んだりもすることにより、定着を図ることができた。</li> <li>清音の復習、濁音、撥音、カタカナ、音読に出てくる漢字と進めて1年生の漢字の一部まですすめることができた。</li> </ul>
保管場所 又は所有者	<p>ことばの宿題を作るためのひな形 22種類（ワープロソフト）。</p> <p>ひな形を用いて作成したプリント 100種類以上（A4プリント）。</p> <p>本校 小学部</p>



教科・領域	国語
名称	ひらがなプリント②
写真 使用方法	 <p>宿題として出す。 答え合わせをする。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	児童の実態としては、平仮名を1文字ずつ読もうとするようになってきた。
素材・作り方等	<p>① PC にインストールされていないフォントを一時的に使えるようにするフリーソフトを活用することで、白抜き文字等のフォントを使えるようにし、書きやすいようにグレー塗りの枠の中に白字でなぞる線を書く。</p> <p>② 左上にイラストをはっておく。</p> <p>③ 1文字目の平仮名を書く練習をしてから、その言葉を書く練習もできるようにする。</p> <p>④ 児童の実態に合わせて、右の写真のようになぞる線を書いていない枠を2個作っているものもある。</p>
使ってみて (効果・反省等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>先に1文字目の平仮名を書くことで、文字が1つずつあることが理解できやすいようである。</li> <li>イラストを張っておくことで、読むヒントにもなり、一人で学習するときにもわかりやすいようである。</li> </ul>
保管場所 又は所有者	本校 小学部



領域	国語
名称	学習プリント「おじいさんとねずみのおはなし」 「3びきのこぶた」
写真 使用方法	
対象児童生徒 学年・グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 小学部 C 高グループ (4, 6 年生)</li> <li>• 音読の練習をしている。</li> <li>• 劇遊びや音読などを通して、お話の内容を理解できつつある。</li> </ul>
素材・作り方等	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ワードプロソフトで作成する。</li> </ul>
使ってみて (効果・反省等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 書きやすい枠の大きさ、読みやすい字の大きさに配慮した。</li> <li>• 児童にとって好きな(興味のある)お話から、書字や読みの学習に繋がった。</li> <li>• まちがいさがしにすることで、一つひとつの言葉を意識して読むことができた。</li> <li>• 児童の様子によって少し内容を変えて、飽きずに取り組めるようにした。</li> </ul>
保管場所 又は所有者	本校 小学部



## 教材・教具 小

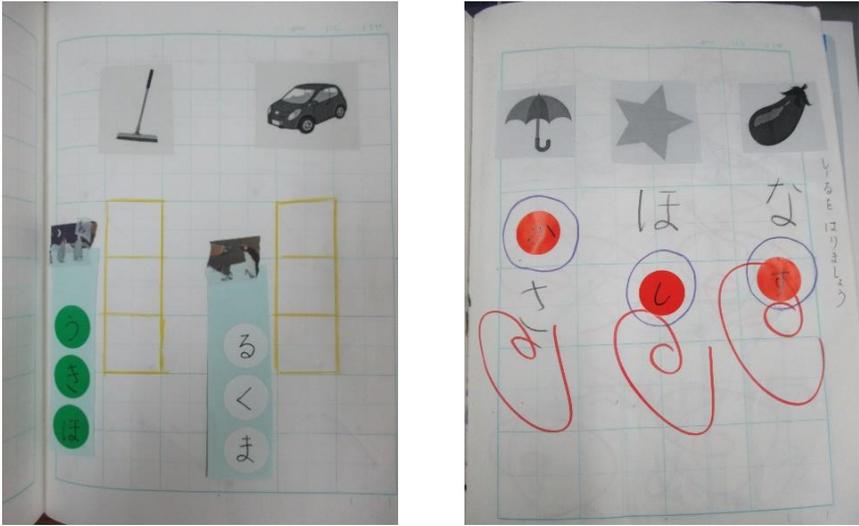
国語

教科・領域	国語
名称	ひらがなカード・カタカナカード
写真 使用方法	
対象児童生徒 学年・グループ	<ul style="list-style-type: none"><li>• 小学部 C 高グループ（4, 6 年生）</li><li>• ひらがなやカタカナを習得している段階。</li><li>• 清音はほぼ理解している。</li></ul>
素材・作り方等	<ul style="list-style-type: none"><li>• ワープロソフトで作成し、ラミネートをしたあと磁石を貼る。</li></ul>
使ってみて (効果・反省等)	<ul style="list-style-type: none"><li>• 児童の身体機能（麻痺や手の巧緻性など）に合わせて、大きさや分厚さの工夫が必要である。</li><li>• どの程度ひらがなが読めるのか、実態把握に用いることができた。</li><li>• ホワイトボードの上部にイラストカードを貼り、下部に枠を貼ってそこに貼るようにした。1文字ずつ確かめながら取り組んでいた。</li><li>• 2セット作成したことで、同時に2人の児童が取り組めた。</li><li>• 保存方法に試行錯誤した。</li></ul>
保管場所 又は所有者	本校 小学部



# 教材・教具 小

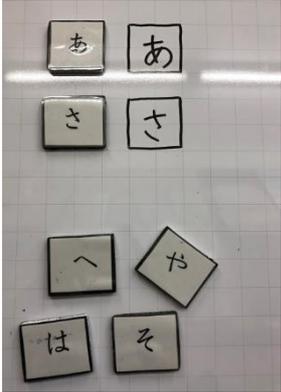
かず・ことば

教科・領域	かず・ことば
名称	文字並べ替え
写真 使用方法	 <p>児童の課題に応じて、単語の文字の並び替えの学習を行う。 文字数、知っている文字のみ等選んで、学習したい単語を自由に設定できる。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	小学部Cグループ
素材・作り方等	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 学習ノートに課題となる単語のイラストを貼る。</li> <li>② イラストの下に枠を書く。</li> <li>③ Oシールに平仮名を書き、マスキングテープで枠の横に貼る。</li> </ol>
使ってみて (効果・反省等)	児童の課題に応じて、すぐに対応したものを作ることができる。興味のあるもの、その日学習したことや体験したこと等、自由に設定できる。運筆が難しくても、シールを貼って答えることができ、シールの操作も楽しんで取り組める。
保管場所 又は所有者	本校 小学部



# 教材・教具 小

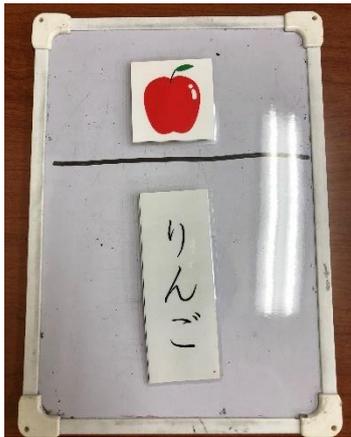
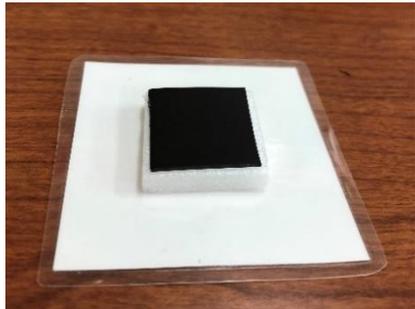
## 国語

教科・領域	国語
名称	ひらがなカード（一文字）
写真 使用方法	 <p>50音 + 促音 + 濁音 + 半濁音があります。</p>  <p>指先に力を入れてもちます。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 C 高グループ
素材・作り方等	<ol style="list-style-type: none"> <li>① ワープロソフトで作成したイラスト、文字を印刷する。</li> <li>② ラミネートして裏に発砲スチロール板を切ったものに磁石をつける。</li> </ol>
使ってみて (効果・反省等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ひらがなをカルタのようにして探しながら、単語づくりができた。</li> <li>・ できた単語を見ながら文字練習をすることができた。</li> <li>・ ホワイトボードに張り付けて活用できるため、付け外しが簡単で楽しんでいた。</li> </ul>
保管場所 又は所有者	本校 小学部



# 教材・教具 小

# 国語

教科・領域	国語
名称	ひらがなカード
写真 使用方法	  <p>裏に厚みをつけています。</p> 
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 C 高グループ
素材・作り方等	<ol style="list-style-type: none"> <li>① ワープロソフトで作成したイラスト、文字を印刷する。</li> <li>② ラミネートして裏に発泡スチロール版を切ったものに磁石をつける。</li> </ol>
使ってみて (効果・反省等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 発泡スチロール版をカードより小さめにしたため、指を入れてもちやすい。</li> <li>• ひらがな一つ一つ意識することが難しい児童でも形で文字を認識しやすい。</li> <li>• ホワイトボードに張り付けて活用できるため、付け外しが簡単で楽しんで使用した。</li> <li>• イラストのみ、文字のみなど児童の実態に合わせて活用しやすい。</li> <li>• 学習グループの児童の人数分あるため、同時進行で授業活用できる。</li> </ul>
保管場所 又は所有者	本校 小学部

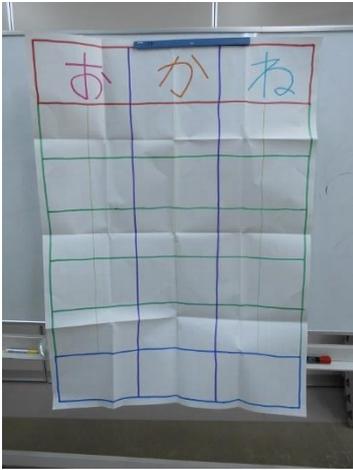


教科・領域	かず・ことば
名称	自己紹介ヒントカード
写真 使用方法	<p>好きなもの、好きなこと、好きなキャラクター等を自己紹介する場面で、何を話すかのヒントとなるカード。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 C グループ
素材・作り方等	<ol style="list-style-type: none"> <li>① どんなジャンルで自己紹介をするか決める。</li> <li>② 自分で考えて選ぶのが難しい児童にヒント絵カードを作る。</li> <li>③ ホワイトボードに貼る</li> </ol>
使ってみて (効果・反省等)	<p>好きなものを選んで作ることができる。</p> <p>交流学习等、自己紹介の場で気軽に使うことができる。字が読めなくても、イラストと写真で流れを思い出して話すことができる。これを見て、できるだけ一人で発表できる。</p>
保管場所 又は所有者	本校 小学部



# 教材・教具 小

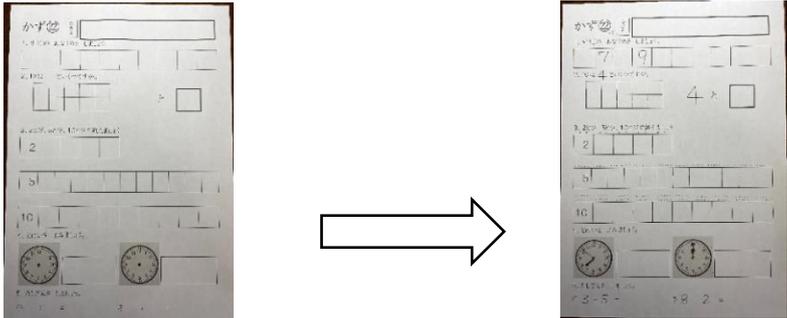
## 算数

教科・領域	算数
名称	お金シート、お金
写真 使用方法	<p>野菜や果物の模型を用意して、買い物学習で使用。 1 円玉は○枚、10 円玉は○枚、100 円玉は○枚かをシートの下部に数字を入力して貼っていく。</p>  
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 C 高グループ
素材・作り方等	<ul style="list-style-type: none"> <li>• お金シート 模造紙に 1 円玉、10 円玉、100 円玉を 10 枚貼りつけることができるような部屋を作る。</li> <li>• お金 A4 用紙にカラーコピーをして、ラミネート加工をする。 裏に磁石を貼り何度も使えるようにする。</li> </ul>
使ってみて (効果・反省等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• お金の種類、枚数が一目でわかる。</li> <li>• 模型を動かすことで、児童の興味が得られる。</li> </ul>
保管場所 又は所有者	本校 小学部



# 教材・教具 小

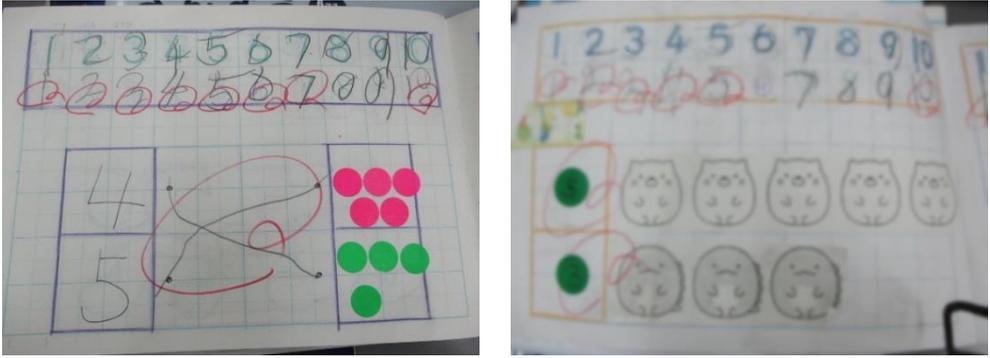
## 算数

教科・領域	かず（算数）
名称	かずの宿題を作るためのひな形
写真 使用方法	 <ul style="list-style-type: none"> <li>• ひな形を印刷し、数字を書き込んだり、シールを貼ったり、書字等では、マーカーなどで薄く描き、なぞれるようにするなど、バリエーションをつけて、いろいろなパターンの宿題が簡単にできる。</li> <li>• タブレットを使用し、PDF にペンで書き込むと、簡単に保管できる。</li> </ul>
対象児童生徒 学年・グループ	取り組み始めは、1 から 10 までの数唱ができ、数の書字がおおむねできる。10 までの数の大小が分かる。具体物を使って、5 までの数の「合わせていくつ」ができる児童
素材・作り方等	<p>パソコンで、A4 用紙 1 枚のひな形プリントを作る。その時に応じた課題に取り組みめる複数単元の混ざったものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• そのとき学習中の新しい課題を入れる。</li> <li>• 次に取り組む単元の基礎となる前段階の課題も含める。</li> <li>• 継続して取り組み続ける必要のあるものを取り入れる。</li> <li>• なかなか、理解出来なかったものを繰り返し取り扱う。</li> </ul>
使ってみて (効果・反省等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ひとつひとつの課題の量が少なく、継続して毎日取り組むことにより、無理なく力をつけることができた。</li> <li>• いろいろな課題、いろいろな段階を取り扱うので、毎日、どんな内容が含まれているのかを確認して持ち帰るなど、興味関心意欲を高めることができた。</li> <li>• 展開の毎日のプリント作りとたくさんのプリント管理はやや負担になったが、同じ段階の児童には、そのまま使えるストックとなった。</li> <li>• タブレットを使うと、簡単に利用することができ、管理が楽になる。</li> </ul>
保管場所 又は所有者	かずの宿題を作るためのひな形 22 種類（ワープロソフト、PDF）。 ひな形を用いて作成したプリント 100 種類以上（A4 プリント）。 本校 小学部



# 教材・教具 小

# 算数

教科・領域	かず・ことば
名称	数える学習
写真 使用方法	 <p>数えることが課題で、数字を読めるが書けない場合にシールや線引きで答えることができる。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	小学部Cグループ
素材・作り方等	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 学習ノートに課題となる数のシールやイラストを貼る。</li> <li>② 枠を書いたり、○シールに数を書いたりする。</li> <li>③ シールの場合は、マスキングテープで枠の横に貼る。</li> </ol>
使ってみて (効果・反省等)	<p>児童の課題に応じて、すぐに対応したものを作ることができる。興味のあるもの、その日学習したことを自由に設定できる。</p> <p>運筆が難しくても、シールや線引きで答えることができ、書くことへの抵抗なく取り組める。</p>
保管場所 又は所有者	本校 小学部



教科・領域	算数
名称	動物パネル
写真 使用方法	
対象児童生徒 学年・グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 小学部 C 高グループ</li> <li>• ものの大小、長短、高低など基本的概念についての課題。</li> </ul>
素材・作り方等	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ワードプロソフトで作成し、ラミネートをする。</li> <li>• 紐を貼り付けてしっぽを作る。</li> </ul>
使ってみて (効果・反省等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 動物のイラストに興味をもち、特にうさぎが好きで、気に入ってもっていた。やりとりをしながら、「うさぎとぶたどっちが大きい？」など質問すると、答えることができた。</li> <li>• 大小、長短、高低の学習ができた。</li> <li>• 大きい順に並べることもできた。</li> <li>• 「なんばんめ」の学習にも取り組めた。</li> <li>• しっぽのひもの感触が好きで、興味をもって取り組めた。</li> <li>• しっぽの色や動物の色など、「色」や動物の名前などの学習もできた。</li> </ul>
保管場所 又は所有者	本校 小学部



# 教材・教具 小

## 自立活動

教科・領域	自立活動
名称	お箸の練習
写真 使用方法	 <p>※ 同時に色の弁別等の課題も行える。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	ピンチや箸つまみ（指先の巧緻性）に課題のある児童生徒
素材・作り方等	小さい箱やお弁当箱 トレーニング用箸 フェルトボール 消しゴム
使ってみて (効果・反省等)	フェルトボールの大きさを変えたり大小を混ぜたりすることで、ゲーム感覚で楽しんでいた。また、素材を混ぜることで挟みやすかったり滑りやすかったりして、工夫しようとする姿が見られた。
保管場所 又は所有者	本校 小学部



# 教材・教具 小

## 自立活動

教科・領域	自立活動
名称	個別課題（分別）
写真 使用方法	 
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 AB 高グループ（6年生）
素材・作り方等	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真カード、キャラクターカード、色カード</li> <li>容器、蓋つき容器</li> </ul>
使ってみて （効果・反省等）	身近なものや色の分別をカードを使って取り組んだ。対象児童は、色や形の型はめには確実ではないが、試行錯誤しながら集中して取り組む。見て、カードを選んで取って、容器に入れることは興味を持ってできるが、仲間分けを理解するのは難しく、言葉かけや指差し確認が必要であった。
保管場所 又は所有者	本校 小学部



## 教材・教具 小

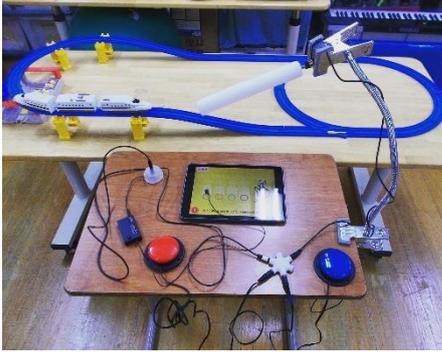
## 自立活動

教科・領域	自立活動
名称	スイッチ・玩具 (BD アダプタを利用) 『チワちゃんとおそぼう』
写真 使用方法	<p>① 玩具の電池ボックスの、乾電池と電極端子の間に、BD アダプタの金属板部分を挟む。</p>  <p>② BD アダプタのジャックに、ジェリービーンスイッチのプラグを差し込む。</p> <p>③ 玩具の電源スイッチを ON にする。</p> <p>④ ジェリービーンスイッチを押している間、通電し玩具が動く。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 AB 低グループ (1, 2 年生) (令和2年度 ICT 支援機器教材展示会でも展示)
素材・作り方等	<ul style="list-style-type: none"> <li>市販の電池駆動の玩具 (いぬ: チワワ)</li> <li>BD アダプタ (自作) を乾電池と端子の間に挟む。</li> <li>ジェリービーンスイッチ、全方向 (棒) スイッチ</li> </ul>
使ってみて (効果・反省等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>自立活動の区分2、環境の把握のうちの一つ、『因果関係の理解』の学習に使用。動きだけでなく「キャンキャン」と音声でもフィードバックがあるため、『押している間と動く』ということが実感しやすかったようだった。</li> <li>ポンと叩くだけや、連打する児童もいたが、動きを見て、音を聴きながら、スイッチの押し方を変えている様子も見られた。</li> <li>玩具の動く先に空き缶を並べて倒すことで、活動の終わり、次の友だちとの交代を意識づけることもできた。</li> </ul>
保管場所 又は所有者	ジェリービーンスイッチ (小学部・情報教育部で保管)



## 教材・教具 小

## 自立活動

教科・領域	自立活動
名称	スイッチ・トイ（スマート乾電池を使用）
写真 使用方法	<p>スマートフォン、タブレットを使ってワイヤレスで玩具の ON/OFF をコントロールできる乾電池型 IoT 機器。専用アプリを使って、タップでの操作の他、声の音量等、様々な操作方法で遊べる。</p>  <p>左写真は、プラレールで、アナウンスサウンド付きの車両を使用。「ガタンゴトン」という走行音や、車掌アナウンスが流れる。</p>  <p>また専用アプリ以外にも、スマート乾電池のコントロールをサポートしている VOCA アプリがあり、音声・画像付きのオリジナルのスイッチを自分で作成することができる。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 AB 低グループ（1, 2 年生） （令和 2 年度 ICT 支援機器教材展示会でも展示）
素材・作り方等	<ul style="list-style-type: none"> <li>スマート乾電池内に単 4 乾電池をセットすると、単 3 乾電池サイズとなり、玩具の乾電池ボックスにセットすることができる。</li> <li>タブレットの画面で直接操作が可能だが、画面タップが難しい児童生徒には、タブレット端末用スイッチインターフェイスと外付けスイッチを組み合わせて使用する。</li> </ul>
使ってみて （効果・反省等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>自立活動の区分 2、環境の把握のうちの一つ、『因果関係の理解』の学習に使用。動きだけでなく音声でもフィードバックがあるため、『押すと動く』ということが実感しやすかったようだった。</li> <li>コントロールアプリが多機能であるために、児童生徒の実態や理解力に合わせた設定ができた。プラレールについては仕様上、連打するとうまく走らず、フラストレーションをためる児童がいたが、外付けスイッチの入力信号を、指導者側が手動で切って「成功体験」を損なわないようにするアナログな配慮も行うことで、意欲を取り戻して活動できた。</li> </ul>
保管場所 又は所有者	プラレール（本校 高等部および一部は私物） スマート乾電池、外付けスイッチ、 タブレット端末用スイッチインターフェイス（本校 情報教育部）



## 教材・教具 小

## 自立活動

教科・領域	自立活動
名称	ドライヤー（AC スイッチアダプターを利用） 『スイッチであそぼう』
写真 使用方法	<p>AC スイッチアダプターに外付けのスイッチを接続し、児童が操作する。 風が児童に当たるようにして、感覚でフィードバックできるようにする。</p>  <p>対象を注視できる児童には、ドライヤーの風を利用して、ピンポン玉を吹きあげて提示することで興味を持てるようにする。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 AB 低グループ（1, 2 年生）
素材・作り方等	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドライヤーを ON にし、AC スイッチアダプターに接続。AC スイッチアダプターの電源コードをコンセントに接続する。</li> <li>AC スイッチアダプターの SET スイッチを『ラッチ』（1 回押す毎に ON/OFF が切り替わる）に設定する。</li> </ul>
使ってみて （効果・反省等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>自立活動の区分2、環境の把握のうちの一つ、『因果関係の理解』の学習に使用。「スイッチを押す」→「風を感じる」の因果関係が直感的で、どの児童にとってもわかりやすかったようで、意欲的な活動がみられた。風が顔に当たるのが苦手な児童がいたが、「押すと止められる」という課題に設定変更することで、同じ教材で学習に取り組むことができた。ピンポン玉の吹き上げを見せると、興味を持って注視し、ピンポン玉の動きを確かめるようにスイッチを操作する児童もいた。</li> </ul>
保管場所 又は所有者	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドライヤー（本校 小学部プール学習用）</li> <li>AC スイッチアダプター（本校 各学部で 1 台保管）</li> </ul>



# 教材・教具 小

## 自立活動

教科・領域	自立活動（個別）
名称	椅子に座る時間を延ばすための支援
写真 使用方法	<p>○児童机と椅子 ○バランスクッション（背中、座面、足底への刺激） ○足置きマット ○手持ち玩具（自分の服の襟元を口に入れる、近くの人 の髪や襟元を引っ張る、頭を机に打ちつけることを防ぐため）</p> 
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 AB 中グループ（3年生）
素材・作り方等	座面すべり止め（100均）、市販バランスクッション（座面や足置きに使用も可）、足置きマット（ジョイントマット3枚使用 100均）
使ってみて （効果・反省等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>徐々に落ち着いて座ることができ、現在 20 分程度まで時間が延びている。学習内容への興味やその日の様子によっても左右される。</li> <li>机を置くことを嫌がったり、立ち上がりた様子が見られたりした場合には、手持ちのおもちゃやバランスクッション、足置きマットの位置（取り外すこともある）を変えることで再度落ち着いて座ることができる場合も多い。その方法を試しても難しい際には、自傷につながる場合も予想されるため座ることを強要せず、その場でしばらく立位姿勢のまま過ごしたり、短時間歩いたりすることで気分転換を図っている。</li> </ul>
保管場所 又は所有者	本校 小学部



# 教材・教具 小

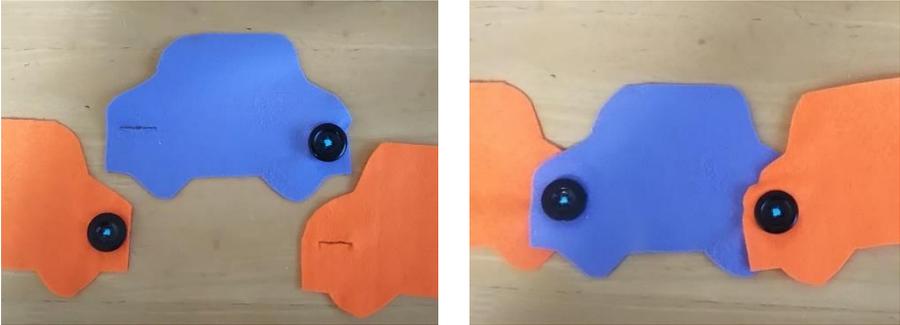
# 自立活動

教科・領域	自立活動
名称	個別課題
写真 使用方法	
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 AB 高グループ (6年)
素材・作り方等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中が見える小箱、積み木、玩具のスティック</li> <li>・ それぞれの小箱の上蓋に積み木、スティックが挿入できる穴をあける</li> </ul>
使ってみて (効果・反省等)	<p>2つの小箱と積み木、スティックを机の上に置いて取り組んだ。穴に合わせて分け入れることができたが、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 手指の操作性を高める</li> <li>② 集中して取り組む</li> </ol> <p>をねらいとすると、スティックのみの方が効果的で、持ち方を工夫しながら16本集中して穴に挿入した。</p> <p>積み木については、5～6個を机上で積み上げることに取り組んだ。円柱を立ててから指先で持つ等の工夫が見られた。積み上げができると、小箱に入れ蓋をして片付けるという活動も楽しみにしてできた。</p> <p>取り組む前にどちらをするか写真カードで選択するようにした。</p>
保管場所 又は所有者	本校 小学部



# 教材・教具 小

# 自立活動

教科・領域	自立活動
名称	ボタンの練習
写真 使用方法	 
対象児童生徒 学年・グループ	ボタン止め・外しに課題のある児童生徒
素材・作り方等	<ul style="list-style-type: none"> <li>• フェルト数枚（さかな、くるま等の形に切り、ボタンの大きさに合わせて切り込みを入れる）</li> <li>• ボタン数個</li> </ul>
使ってみて （効果・反省等）	<p>ボタンの仕組みや、つまむ、押し込む、引っ張るという一連の手の動きを行うことができる。</p> <p>繰り返し練習することでできるようにはなるが、実際に服を着る時のボタンの場所や角度とは違うためか、実際に服のボタンを付けられるようになるには少し時間がかかった。</p>
保管場所 又は所有者	本校 小学部



## 教材・教具 小

## 自立活動

教科・領域	自立活動
名称	ゆらゆら椅子
写真 使用方法	 <p>児童が箱いすにまたがり左右に揺れる（上半身が傾く）ことで、反射的に上体の立ち直りを促すものである。児童が一人でも乗ることができる。児童と大人と一緒に乗ることもできる。</p> <p>写真上は下部の「三日月」部分が大きく、ストロークの長い揺れができる。写真下は「三日月」部分が小さく、ストロークの小さな細かい揺れができる。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	小学部児童
素材・作り方等	廃材を用い、ベルトサンダーで三日月の形に削る。 三日月型を2個作り、板に張り付ける。
使ってみて (効果・反省等)	小学部 AB 低グループの児童に使用する。一人では乗れない児童であったので、教員が後方に乗り二人乗りとし、左右に傾けるとそれに応じて上半身を真っすぐにしようとする、立ち直りがみられた。
保管場所 又は所有者	本校 小学部



## 教材・教具 小

## 自立活動

教科・領域	自立活動
名称	コマ型回転盤
写真 使用方法	 <p>コマ型回転盤は、児童を乗せて回転させる遊具である。重心がとれて中心の棒で回転している時は振動をあまり感じられないが、重心がずれてキャスターが接地した場合に振動を感じられる。回転の感覚や振動の際の感覚を体験させたい。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 AB 低グループ
素材・作り方等	25mm 厚の構造用合板を円形にカットし、中心に 30φの丸棒を着けコマの芯とする。周囲にキャスターを着ける。
使ってみて (効果・反省等)	小学部 AB 低のからだ（体育）の授業で使用する。 コマが中心で回る場合、振動を感じられないが、キャスターが接地して振動が生じると、乗っている児童に笑顔がみられた。
保管場所 又は所有者	本校 小学部



## 教材・教具 小

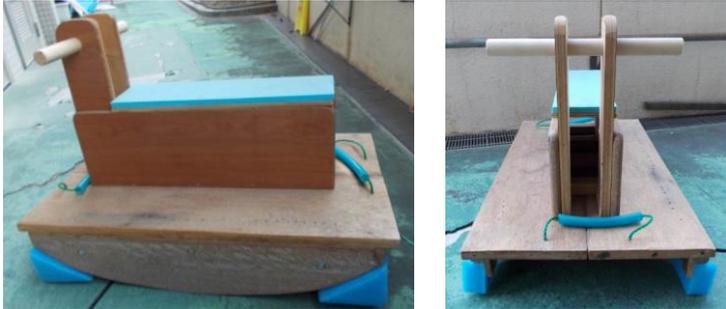
## 自立活動

教科・領域	自立活動
名称	スヌーズレン教材 ①蛍光スライム ②蛍光絵具のペットボトル ③ウォーターボトル
写真 使用方法	<p>① </p> <p>② </p> <p>③ </p>
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 AB 低グループ（1, 2 年生） 2 学期より、毎週月曜日の 5 時間目の集団自立活動の時間にスヌーズレンの授業を行っている。初めての空間に初めは戸惑っていた児童もいたが、慣れてくると自分が安心して過ごせる場所を見つけてリラックスして過ごせるようになってきた。
素材・作り方等	蛍光絵具、ぷるぷるボール、ラメ、ペットボトル等 インターネットからの情報を元に作成した
使ってみて (効果・反省等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蛍光絵具を使用した教材は、ブラックライトを当てると光ることもあり、じっと眺めて自分から手を伸ばして触れようとする児童もいた。</li> <li>・ ウォーターボトルに懐中電灯でライトを当てたり、キャンドルライトで照らしたりすると中が透けて綺麗に見え、興味を持って転がして遊ぶ児童の姿が見られた。</li> </ul>
保管場所 又は所有者	本校 小学部



## 教材・教具 小

## 自立活動

教科・領域	自立活動
名称	木馬
写真 使用方法	 <p>木馬は児童がまたがり、自分で上半身を前後に揺すり揺れを感じる遊具である。この遊具に関しては、児童と大人が二人乗りできるように座面を前後に長くしてあるので、一人で乗れない児童には大人と一緒に乗って前後に揺らすことができる。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 AB 低グループ
素材・作り方等	廃材を用いて製作する。 ベルトサンダーで木材を削り三日月型を作る。大小それぞれ 2 個ずつ作り、小さい方 2 個を板の内側に張り付け固定する。その板の上に椅子となるものを製作し固定する。小さい三日月のままでは小さい揺れ、その外側に大きい三日月をボルトと蝶ナットで固定する。蝶ナットで固定することで、後にサイズの異なる三日月型を製作すると、取り外しと取り付けが容易にできる。
使ってみて (効果・反省等)	個別学習の時間に使用する。 一人で乗ることができる児童には、教員が見本を見せると一人で乗ることができた。一人乗りが難しい児童には、教員が後方に乗り揺らすと笑顔がみられた。
保管場所 又は所有者	本校 小学部



# 教材・教具 小

## 生活

教科・領域	生活（家庭科）	
名称	お金練習セット	
写真 使用方法	 	<p>閉じると A4 サイズで、首から下げられるようにひもをつけている。広げると・・・</p> <p>お金がいくら入っているのかが分かりやすいようになっている。お金の裏には貼ったりはがしたりできる両面テープをつけているので何度も使うことができる。1000 円、100 円、10 円があります。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 C 高グループ	
素材・作り方等	<p>【さいふ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• A4 カラー用紙をラミネートにかけ、2 枚をテープで固定する。</li> </ul> <p>【お金】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ワープロソフトで作成したものをラミネートにかける。</li> <li>• 裏に何度も使用できる両面テープをつける。</li> </ul>	
使ってみて (効果・反省等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• お金の色や形などをシンプルにしたため、見分けが付きやすい様子だった。</li> <li>• 両面テープを使用したため、子どもの力でも簡単に付け外しできた。</li> <li>• 見開きでお金が見えるため、いくら入っているのかが見えやすかった。</li> </ul>	
保管場所 又は所有者	本校 小学部	